



2020年11月2日

各 位

会 社 名 マクニカ・富士エレ ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 原 一将
(コード番号 3132 東証第1部)
問合せ先 取締役 佐野 繁行
(TEL 045-470-8980)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2020年6月22日に公表いたしました2021年3月期通期連結業績予想数値(2020年4月1日～2021年3月31日)を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 500,000	百万円 12,600	百万円 10,700	百万円 6,500	円 銭 105.38
今回修正予想(B)	522,000	14,550	13,800	8,600	138.95
増減額(B-A)	22,000	1,950	3,100	2,100	
増減額(%)	4.4%	15.5%	29.0%	32.3%	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	521,193	14,447	11,072	5,633	90.14

2. 業績予想修正の理由

2021年3月期の通期業績予想につきましては、依然として新型コロナウイルス感染症の影響が継続しているなか、各国の経済活動は、感染防止策を取りながら緩やかな回復傾向とみられております。そのような中、集積回路及び電子デバイスその他事業におきましては、引き続き、先端半導体への設備投資、5Gやデータセンター向けの投資が見込まれ、産業機器や通信インフラ市場は堅調に推移する予定です。車載市場につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響から徐々に回復する見込みと予想しています。また、新型コロナウイルス感染症対策のソリューションなど、新しい分野への活動も進めてまいります。ネットワーク事業におきましては、継続する高度化したサイバー攻撃への対策やリモートワークの増加に伴うエンドポイントでのセキュリティ対策の強化により、引き続きセキュリティ関連商品やネットワーク関連商品の導入が進むと予想しています。またクラウドの利活用が進むことにより、クラウド関連商品やモバイル関連商品の拡大が見込まれます。

売上高の増加に加え、利益面につきましても、新型コロナウイルス感染拡大防止並びに社員の安全確保のため在宅勤務やデジタル・セールス活動の継続により、販売費及び一般管理費の抑制が続くことが見込まれ、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益も当初予想を上回る見通しとなりました。以上の理由により、2021年3月期通期連結業績予想を上記のとおり修正いたします。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上